

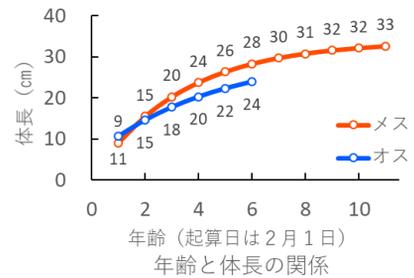
# ヤナギムシガレイ

## 1 生態

- ・北海道以南に分布し、福島県沖では主に水深100～150mに分布します。産卵に伴い浅海域に移動し、水深80～100mの海域で多く漁獲されます。
- ・産卵活動の主体はオスが満2～3歳、メスが3～5歳です。産卵期は1～6月で、盛期は1～3月です。
- ・主に多毛類、甲殻類などを食べます。

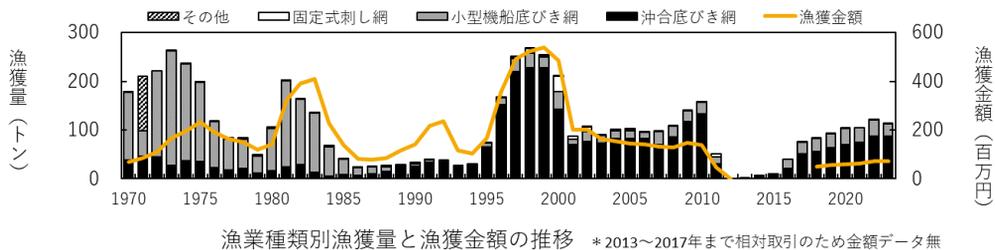


\* 福島県水試研究報告第9号（2000）により右図を作成



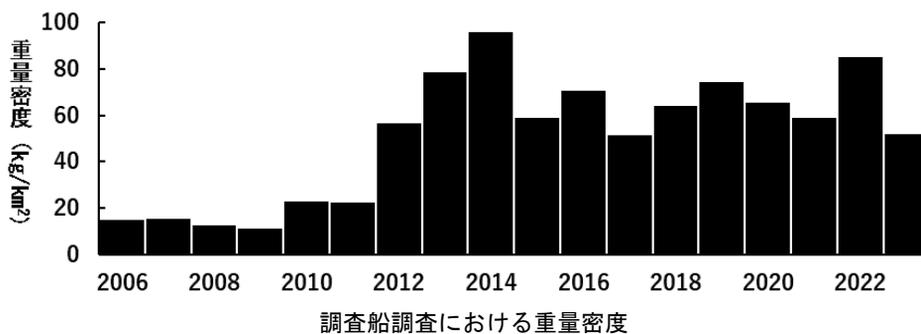
## 2 漁業に関する情報

- ・主に沖合底びき網で周年漁獲されています。
- ・2023年（令和5年）の漁獲量は112トン、金額は73百万円でした。
- ・2011年3月の震災以降、操業自粛により水揚げはありませんでしたが、2013年（平成25年）4月から再開されています。



## 3 資源の状態

- ・資源水準：中位、資源動向：横ばい
- ・調査船調査の結果では、震災後に資源が増加し、以降の資源水準は中位程度で推移していると考えられます。



## 4 資源管理の取組み

- ・国が作成する資源回復計画（～2011年度）に基づき、沖合底びき網漁業及び小型機船底びき網漁業において、保護区（4～6月）が設定され、2012年度以降は資源管理指針・資源管理計画体制の下で同様の管理策が行われています。